

# 公衆無線LAN (Wi-Fi) の適切なセキュリティ対策について

公衆無線LAN (Wi-Fi) は利用者にとっては大変便利ですが、適切なセキュリティ対策を行わずに提供すると、利用者の通信内容が盗聴されるなどの危険性があります。

## 公衆無線LANのセキュリティ対策が適切でないとき…

通信内容が盗聴されたりのぞき見されたりして、個人情報を盗まれる

情報が悪用される可能性

ウイルス感染被害や不正アクセスにあい、保存されている情報を盗まれる



## 適切なセキュリティ対策とは



### 不正利用防止のために…

- 次のいずれかの利用者認証方式を導入する
  - ① SMS連携方式
  - ② SNSアカウントを利用した認証方式
  - ③ 利用していることの確認を含めたメール認証方式
- 1回の接続による利用時間や利用可能エリアを制限する
- 利用者状況を把握するため、周辺に防犯カメラを設置する



### 利用者の安全確保のために…

- WPA2などの強固な暗号化方式を導入する
- 公衆無線LAN端末同士の通信を遮断する
- 違法有害情報に対するフィルタリングを実施する
- 利用者への適切な情報（利用条件や暗号化の有無等）を開示する



### 万が一悪用された時のために…

- 通信記録（アクセスログ等）を長期（6ヶ月～1年）保存する



公衆無線LANを提供する自治体及び事業者の方は、適切なセキュリティ対策を講じて悪用を防止しましょう。

